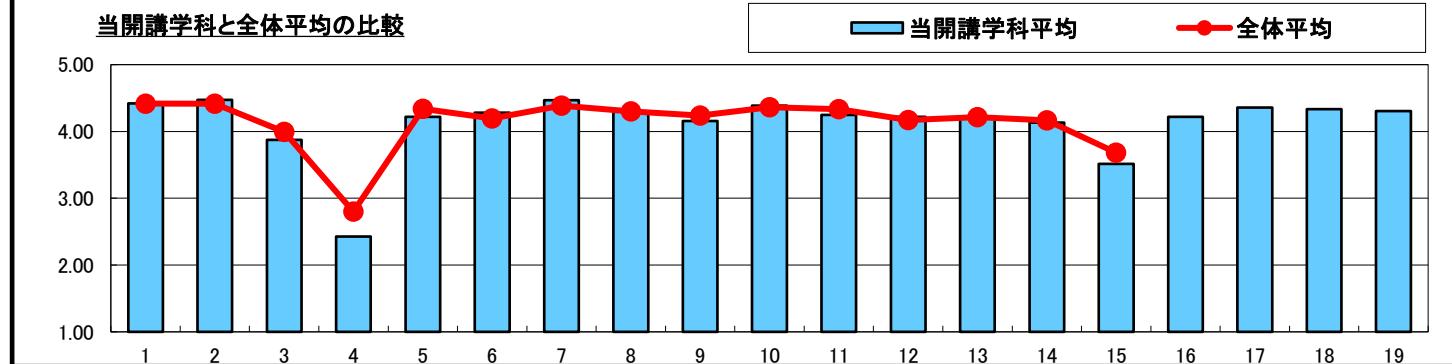


2024年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	心理教育学科					履修者数	1,770			
						回答者数	1,237			
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)									
	1年	2年	3年	4年		無効回答				
	705	291	168	73		0				
57.0	23.5	13.6	5.9			0.0				
No.	設問文		平均	回答者数／構成比 (%)						
				5	4	3	2	1		
				とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそ う思わない	全くそ う思わない		
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった		4.42	626 50.7	535 43.3	48 3.9	18 1.5	8 0.6	1,235 1,235	2
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった		4.47	683 55.3	477 38.6	59 4.8	12 1.0	5 0.4	1,236 1,236	1
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）		3.87	351 28.4	522 42.2	242 19.6	102 8.2	20 1.6	1,237 1,237	0
▼学部レベルの質問項目										
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）		2.43	2時間以上 2時間未満 5.9	1時間以上 1時間未満 12.5	30分以上 1時間未満 26.9	30分未満 27.6	全くして いない 27.1	1,236 1,236	1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた		4.22	521 42.2	518 41.9	154 12.5	28 2.3	14 1.1	1,235 1,235	2
6	この科目の難易度は適切であった		4.28	545 44.1	548 44.4	97 7.9	34 2.8	11 0.9	1,235 1,235	2
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった		4.47	722 58.5	409 33.1	72 5.8	20 1.6	11 0.9	1,234 1,234	3
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った		4.29	604 48.9	455 36.8	125 10.1	38 3.1	13 1.1	1,235 1,235	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった		4.16	587 47.6	399 32.4	142 11.5	62 5.0	42 3.4	1,232 1,232	5
▼教員個人レベルの質問項目										
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった		4.39	696 56.4	395 32.0	81 6.6	47 3.8	15 1.2	1,234 1,234	3
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった		4.25	592 47.9	453 36.7	112 9.1	58 4.7	20 1.6	1,235 1,235	2
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた		4.22	587 47.5	428 34.6	149 12.1	47 3.8	25 2.0	1,236 1,236	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた		4.22	552 44.7	494 40.0	120 9.7	44 3.6	25 2.0	1,235 1,235	2
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた		4.13	518 41.9	462 37.4	182 14.7	48 3.9	26 2.1	1,236 1,236	1
15	この授業のシラバスを読みましたか		3.52	十分に 読んだ 233	よく読んだ 502	どちらとも いえない 264	ほとんど 読みなかつた 142	全く読んで いない 94	1,235 1,235	2
▼学科設問										
16	この授業の学修を通して、関連の資格にかかる資質・能力を高めることができた		4.22	525 42.6	532 43.1	116 9.4	42 3.4	18 1.5	1,233 1,233	4
17	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に必要な実践や取組への理解を深めることができた		4.36	614 49.8	497 40.3	89 7.2	19 1.5	15 1.2	1,234 1,234	3
18	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に関わる理論や研究への関心を高めることができた		4.33	594 48.1	512 41.4	94 7.6	21 1.7	15 1.2	1,236 1,236	1
19	この授業の学修を通して、人間理解や対人援助に関わる技術やノウハウを身に付けることができた		4.30	575 46.5	511 41.3	113 9.1	24 1.9	13 1.1	1,236 1,236	1



2024年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	心理教育学科
講評者	心理教育学科長 長屋 佐和子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）やクラスサイズ（受講生数）については、全学に対するアンケート結果と同様に4点を超える良好な結果となった。授業に参加している学生の熱意については、全学に対するアンケート結果よりやや低いものの、3.87点と高い評価となっている。これらのことから、学修環境に関しては概ね満足していることが伺える。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	学部レベルの質問項目では、心理学の学びを深めたり、キャリア形成や将来を考える上で有益な授業であるとの評価が得られた。また、授業の難易度としても適切であったと考えられる。本学科における実験、演習等による授業構成が、学びを深める上で有効であったと考えられる。これに対して、授業外学修の時間は全学と比較しても少ない傾向があるため、今後は授業の予習・復習を促す取り組みが求められる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員個人に対する質問項目では、板書やスライドなども適切で見やすいとの評価が得られている。また、学生の反応や理解度を確認しながら授業を行っていることが高く評価された。これらの項目が4点以上であった一方で、シラバスを読まずに参加している学生が多いことが示された。今後は、ガイダンス等でシラバスを確認した上で履修するよう指導する必要がある。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	本学科独自の設問は、学修を通して、人間理解や対人援助につながる資質・能力の獲得、実践・取り組みに対する理解、理論や研究への関心、対人援助の技能やノウハウが身についたか、といった内容で構成されている。これらすべての項目で4点以上の高い評価となり、本学科において、地域貢献や対人援助に活かすための心理学教育を目標に教育を実践した結果が反映されたと考えられる。